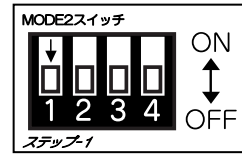


L 端子検出方式への変更

始動検出方式の変更方法です。エンジンがかかっているのに止めてしまう場合やエンジンがかかっていないのにメーターパネルが点灯したままになってしまう場合に変更します。

- ステップ 1** Guardog V-1/V-2本体のMODE2スイッチメニューの1「EGS パワースイッチ」をOFFにします。

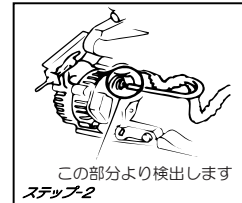
すでに付属の安全センサーケーブルが、エンジンスターターキット本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行ってください。



- ステップ 2** 車のオルタネーターから出ているL 端子コードを探します。

注意 必ずテスターを使用して下さい。

オルタネーターから出ているコードの内、イグニッションONの位置でエンジンが停止しているときに約1〜3V、エンジンが駆動しているときに約12〜14Vを示すコードをテスターで探して下さい。



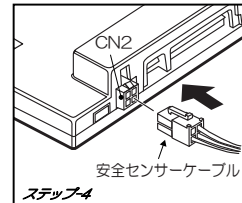
- ステップ 3** 安全センサーケーブルの灰コードを接続します。

注意 エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックして下さい。エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。

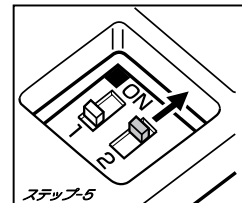
安全センサーケーブルの灰コードをステップ2で探したコードに付属のエレクトロタップ(赤色)で接続します。

- ステップ 4** エンジンスターターキット本体へ接続します。

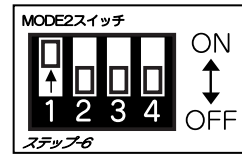
エンジンスターターキット本体の安全センサーケーブル差込口(CN2)へ安全センサーケーブルのコネクターを差し込みます。



- ステップ 5** エンジンスターターキット本体のMODEスイッチメニューの2「始動検出」をONにします。



- ステップ 6** Guardog V-1/V-2本体のMODE2スイッチメニューの1「EGS パワースイッチ」をONにします。



- ステップ 7** リモコンでエンジンを始動し、エンジがかかるか確認します。

- ステップ 8** 配線したハーネス類を整理します。

警告	・ハーネス類などは、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近には固定しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
注意	・配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンドなどで確実に固定して下さい。また車のカバーや内張りなどで配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、火災・故障の原因となります。
注意	・接続していない端子部は、ビニールテープなどで絶縁処理して下さい。ショートし、火災・故障の原因となります。

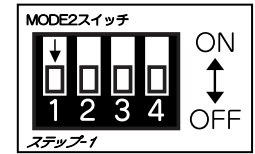
これまでに配線したハーネス類をビニールテープや付属の結束バンドなどを使用して、確実に固定して下さい。

ドアスイッチ配線方法

ドアスイッチへ安全センサーケーブルを配線することにより、リモコンで始動したエンジンをドアを開けると同時に停止させることが出来ます。

- ステップ 1** Guardog V-1/V-2本体のMODE2スイッチメニューの1「EGS パワースイッチ」をOFFにします。

すでに付属の安全センサーケーブルが、エンジンスターターキット本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行ってください。

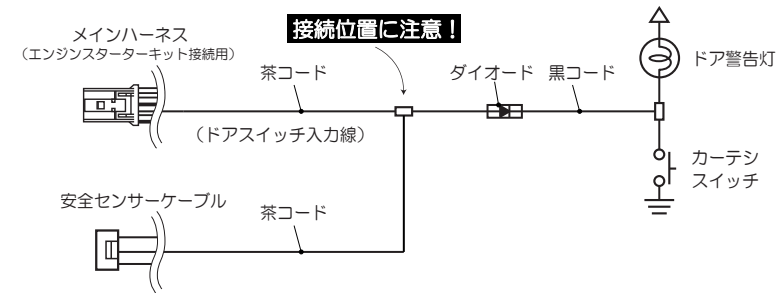


- ステップ 2** 安全センサーケーブルの茶コードを接続します。

注意 エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックして下さい。エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。

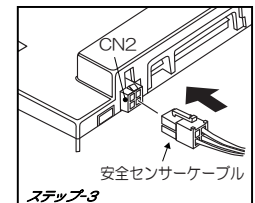
注意 安全センサーケーブルの茶コードをメインハーネス(エンジンスターターキット接続用)内の茶コード(ドアスイッチ入力線)のダイオードとGuardog V-1/V-2本体に接続するコネクターの間に接続して下さい。

安全センサーケーブルの茶コード先端のギボシ端子部を切断し、メインハーネス(エンジンスターターキット接続用)内の茶コード(ドアスイッチ入力線)に付属のエレクトロタップ(赤色)で接続します。

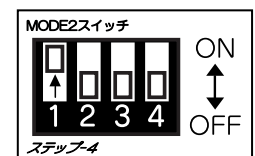


- ステップ 3** エンジンスターターキット本体へ接続します。

エンジンスターターキット本体の安全センサーケーブル差込口(CN2)へ安全センサーケーブルのコネクターを差し込みます。



- ステップ 4** Guardog V-1/V-2本体のMODE2スイッチメニューの1「EGS パワースイッチ」をONにします。



- ステップ 5** リモコンで始動したエンジンが、ドアを開けると同時に停止するか確認します。

①車のドアを閉め、リモコンでエンジンを始動させて下さい。

メモ 残光式ルームランプ付き車は、ドアを閉めてルームランプが完全に消灯してから数秒後にリモコンでエンジンを始動して下さい。

②ドアを開け、エンジンが停止することを確認して下さい。

- ステップ 6** 配線したハーネス類を整理します。

警告	・ハーネス類などは、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近には固定しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
注意	・配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンドなどで確実に固定して下さい。また車のカバーや内張りなどで配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、火災・故障の原因となります。
注意	・接続していない端子部は、ビニールテープなどで絶縁処理して下さい。ショートし、火災・故障の原因となります。

これまでに配線したハーネス類をビニールテープや付属の結束バンドなどを使用して、確実に固定して下さい。